

Polio Eradication News = = = = =  
ポリオプラス通信 ～ポリオのない世界へ  
創刊号 2020.7.15  
= = = = =

皆さん、こんにちは！

国際ロータリー第2750地区  
ロータリー財団委員会・ポリオプラス委員会の  
新たな試みとして、  
毎月15日にメールマガジンを発行することにしました。  
2020年は新型コロナウイルスにより、  
世界は大きな衝撃を受けています。  
このようなコロナ禍の最中に、  
また野生株のポリオが発生している  
アフガニスタンとパキスタンでは、  
ワクチン投与活動がままならず、  
罹患者が増加しています。

国際ロータリーの最優先事項はポリオ根絶です。

これはロータリークラブだけのことではなく、  
多くの方たちにポリオの現状とこれまでの活動を  
知ってもらいたいと思い、  
情報発信するという思いに至りました。  
様々な情報を織り交ぜながら、  
これから月1回メールマガジンを発行しますので  
どうぞお楽しみに！

= = = = =  
〈ポリオクイズコーナー〉  
これまでの活動や現状をクイズ形式で  
お伝えするコーナーです。  
= = = = =

《問題》  
国際ロータリーが「ポリオプラス」を開始したのは、  
何年でしょうか？

A. 1979年      B. 1985年      C. 1988年

《答え》

## B. 1985年

2014年には野生株のポリオ常在国は3カ国  
(アフガニスタン、パキスタン、ナイジェリア)に  
なりましたが、35年経過してまだ根絶に至っていません。  
ちなみに1979年はロータリークラブがフィリピンで  
ポリオワクチンを購入・輸送する  
プロジェクトを開始した年で、  
1988年は国際ロータリーと世界保健機構(WHO)が  
世界ポリオ撲滅推進活動(GPEI)を立ち上げた年です。

=====

### 【ポリオ罹患数】

2020年6月30日付

野生株のポリオ罹患状況は以下の通りです。

パキスタン	55名
アフガニスタン	26名
ナイジェリア	0名
合計	81名

前年同時期では合計42名でしたので、倍増しています。  
コロナ禍の影響で、ワクチンが十分に投与されていないと  
考えられます。

### 【編集後記】

このメールマガジンを発行するにあたり、  
「ハチドリの一滴」という物語を思い出しました。

---

森が燃えていました  
森の生きものたちはわれ先にと逃げていきました  
でもクリキンディという名の  
ハチドリだけはいたりきたり  
口ばしで水のしずくを一滴ずつ運んでは  
火の上に落としていきます  
動物たちがそれを見て  
「そんなことをして いったい何になるんだ」  
とって笑います  
クリキンディはこう答えました

「私は、私にできることをしているだけ」

## 「ハチドリのひとしずく」辻信一監修 光文社刊から引用

これまでの35年間ロータリーは「ポリオプラス」プログラムを通して子供たちへの生ワクチン投与活動を継続し、99.9%までポリオが減少しました。  
日本では2012年に生ワクチン（経口ワクチン）から不活化ワクチン（注射）に切り替わりましたが、新興国では安価な生ワクチンが主流です。  
生ワクチンの場合、100万人に1人くらいの確率でポリオに罹患することがありますが、野生株のポリオが根絶されれば生ワクチンを投与する必要もなく、子どもたちを救うことにもつながります。

今世界中が未曾有のコロナ禍に見舞われています。  
今だからこそ、「私たちにできること」があるのではないかと考えています。  
このメールマガジンの小さな一滴が大河の流れになることを意図して、発信していきたいと思っています。

最後に・・・  
このメールマガジンが、ポリオ根絶を成し遂げる情報共有の場ともなるよう、読者の皆さんとともに歩んでいきたいと思えます。  
ぜひ皆様のご意見・ご感想をお聞かせください。  
また、お知り合いの方たちへもこのメールマガジンをご紹介ください。  
毎月15日に発行しますので、皆さまよろしくお願い致します。

=====

○メールマガジン「ポリオプラス通信～ポリオのない世界へ」

発行責任者 柳 邦明

国際ロータリー 第2750地区 ロータリー財団

ポリオプラス委員会

[polioplus2750@gmail.com](mailto:polioplus2750@gmail.com)

アドレス変更・解除は

<https://www.mag2.com/m/0001692155>

=====